

「快報 風険消息」は、中国に拠点をお持ちの企業の皆様にお届けするリスク情報誌「中国風険消息」の速報版です。

2026年1月28日

## 春節休暇における安全管理のポイント



2026年の春節休暇を目前に控え、多くの工場では一定期間の操業停止が予定されています。この時期は、人の往来の減少、設備の長時間停止、寒冷な気候条件といった要因が重なり、火災、盗難、凍結被害(凍害)などの各種安全リスクが平時に比べて大幅に高まる傾向にあります。工場資産の安全を確実に確保するとともに、春節休暇明けの生産再開を円滑に進めるため、本稿では休暇前・休暇中・休暇後の三つの時間軸に分け、さらに管理面、設備面、環境面別に整理し、春節休暇における安全管理の重点確認事項を取りまとめました。貴社における安全管理体制の点検・強化の参考としてご活用ください。

### 1. 休暇前

	確認内容	確認欄
管理面	春節期間中における各エリアの当直(警備・管理)責任者およびその職務内容(巡回点検、設備の維持管理等)を明確化するとともに、当直に従事する従業員に対して安全生産に関する教育・訓練を実施する。	<input type="checkbox"/>
	突発事故発生時の報告フローを明確化するとともに、当直責任者・当直者および関係管理職の連絡手段(電話、携帯番号、WeChat等)を一覧化し、あらかじめ連絡用のWeChatグループ等を構築することで、常時円滑な連絡体制を確保する。	<input type="checkbox"/>
	工場責任者、各班組長、安全管理担当者等が合同で、工場全体を対象とした安全上の潜在リスクの総点検を実施する。	<input type="checkbox"/>
	原則として、春節期間中の火気作業、有限空間作業および外注作業を禁止する。やむを得ず実施する場合は、個別の対策計画を策定のうえ承認を申請し、作業前に安全に関する事前説明を徹底するとともに、専任者を配置して現場監督を行う。	<input type="checkbox"/>
設備面	工場敷地の内外に設置されたCCTV、電子フェンス、赤外線センサー等が正常に作動していることを確認する。	<input type="checkbox"/>
	操業していない生産エリアの生産設備および基礎設備・施設の電源を遮断し、スイッチ部に「断電済み」等の表示を掲示する。	<input type="checkbox"/>
	生産現場で未使用のまま残っている危険化学品を、危険化学品倉庫または防爆キャビネットに保管する。	<input type="checkbox"/>
	ガス配管の元栓を閉止し、石けん水等を用いて配管の気密性を確認する。	<input type="checkbox"/>
	ガスボンベをチェーン等の手段により確実に固定する。	<input type="checkbox"/>
	危険廃棄物倉庫内に長期間滞留している廃棄物について、専門業者に連絡のうえ回収を行う。	<input type="checkbox"/>

確認内容		確認欄
設備面	工場・倉庫内に保管されている貨物は、電気配線、照明器具等から少なくとも0.5mの離隔距離を確保する。	<input type="checkbox"/>
	屋外および低温環境にある給水配管(消防配管を含む)には保温材を施す。使用していない配管については、内部の残水を排水し、配管の凍結・閉塞や破裂を防止する。	<input type="checkbox"/>
	火災警報設備、スプリンクラー設備等が正常に作動することを確認し、消防主制御盤および消防ポンプ制御盤を「自動」状態に設定する。	<input type="checkbox"/>
	防火扉が閉鎖状態にあること、防火シャッターが完全に降下できることを確認し、いずれも損傷や遮へい(物による妨げ)がないことを確認する。	<input type="checkbox"/>
	消火栓および消火器が遮へいされていないことを確認し、消防通路および避難通路に閉塞がないことを確認する。	<input type="checkbox"/>
環境面	工場敷地内および周辺の雑草、落ち葉、可燃性の雑物を除去し、花火・爆竹の使用等に起因する火災を防止する。	<input type="checkbox"/>

## 2. 休暇中

確認内容		確認欄
管理面	当直者は、毎日巡回点検記録を適切に作成・記録する。	<input type="checkbox"/>
	各部門の責任者は、携帯電話を常に連絡可能な状態に保ち、突発的な事態の報告をいつでも受けられる体制を確保する。	<input type="checkbox"/>
	工場敷地への出入りを行う人員および車両について厳格に確認を行い、入退場の登録制度を実施する。	<input type="checkbox"/>
	当直室には24時間体制で要員を配置し、消防主制御盤、可燃性ガス検知器等の各種警報信号を常時監視する。	<input type="checkbox"/>
設備面	当直者は、毎日定期的に工場全体の巡回点検を実施する。	<input type="checkbox"/>
	工場に残って勤務する従業員による、無断での電源配線の引き回しや充電行為、または高出力の暖房機器の使用がないかを確認する。	<input type="checkbox"/>
	配管の保温状況を確認し、凍結破損や漏えいの恐れがないかを点検する。	<input type="checkbox"/>
環境面	作業場に水漏れ、浸水がないかを検査する。	<input type="checkbox"/>
	工場区域、屋根の積雪、着氷を速やかに整理し、警告標識と滑り止めマットを設置する。	<input type="checkbox"/>

### 3. 休暇後

	確認内容	確認欄
管理面	従業員の身体的・心理的な状態および行動面の状況に留意し、生産に支障がない状態であることを確認したうえで職場復帰させる。	<input type="checkbox"/>
	安全教育を実施し、従業員が作業手順・操作状態を改めて確認できるようにするとともに、各職務における安全上の責任を明確化する。(特に、新規入社者、配置転換者、ならびに特定作業・特定設備の操作に従事する者への対応を重点とする。)	<input type="checkbox"/>
	外注作業員等に対して入場時の安全教育を実施し、あわせて作業に必要な資格・要件を有していることを確認する。	<input type="checkbox"/>
	年末に実施した安全リスク点検で抽出されたリスク事項を振り返り、新年度の是正・改善計画を段階的に推進する。	<input type="checkbox"/>
	操業再開初期においては、工期短縮を優先した無理な稼働や過負荷生産を避け、生産計画を合理的に立案・運用する。	<input type="checkbox"/>
設備面	点検・整備後における試運転および試験生産の管理を強化し、試運転・試験生産に関する計画を策定する。	<input type="checkbox"/>
	長期間停止していた安全防護設備、機械設備、電気配線・電気回路等について点検を行い、必要に応じて修理・補強を実施する。	<input type="checkbox"/>
	各種車両、装置、機械、設備、工具、安全監視システム、特定設備等について、全面的に点検・整備・保守を実施し、安全条件を満たしていないものは使用しない。	<input type="checkbox"/>
	給水配管に凍結破損が発生していないかを確認し、気温の状況に応じて保温材を撤去する。	<input type="checkbox"/>
	危険化学品およびガスボンベ等について、保有数量および保管状態を確認し、漏えい、損傷、期限切れ等がないことを点検する。	<input type="checkbox"/>
環境面	非常用照明および避難誘導標識が良好な状態にあることを確認し、停電時にも正常に作動することを確認する。	<input type="checkbox"/>
	換気が不十分な作業場等について換気を実施し、操業再開前に可燃性ガス・有毒ガスの濃度および酸素濃度を測定・確認する。	<input type="checkbox"/>
	工場敷地内に堆積した雪や滞留水を除去し、通常の作業環境を回復させる。	<input type="checkbox"/>

各社におかれましては、上記の一覧表を参考に、自社工場の実情を踏まえたうえで、適切な安全対策を実施していただければ幸いです。

末筆ながら、皆さまの休暇中のご無事と、操業再開が円滑に進むことを心よりお祈り申し上げます。

全文完

執筆： インターリスク上海 コンサルティング部 主管 葛永正

瑛得管理諮詢（上海）は、中国・上海に設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

＜お問い合わせ先＞

瑛得管理諮詢（上海）有限公司（日本語表記：インターリスク上海）  
 上海市浦東新区世紀大道100号 上海環球金融中心34楼T10室-2  
 TEL: +86-(0)21-6841-0611（代表）



インターリスクサービスメニュー